500

合

計

記入年月日 の実績評価) 令和 4年度 事務事業評価表 (令和 3年度 月 事業区分 事務事業名 スポーツ少年団球技大会事業 新規/継続 継続 事務事業No. 020401000070 政策体系上の位置付け 単独/補助 単独 090501 所属課 スポーツ振興課 総合計画の施策名 0204 生涯スポーツ活動の振興 O2 生きがいを育む学びのまちづくり 課長名 04 生涯スポーツ活動の振興 スポーツ振興G 施策名 グルー 系 01 ①スポーツをする機会の充実 手段名 担当者名 財務会計上の位置付け 丵 誀 事業 細 一般会計 単年度繰返し (昭和57 年度~) 会計 目 予算科目 10 06 01 02 00 保健体育総務事業 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入 01 法令根拠 事務事業の現状把握(その1) $[D_0]$ (1) 事務事業の概要 ①事務事業の概要(事務事業の全体像) ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・近隣市町村のスポーツ少年団に参加を呼び掛け、スポーツの普及(競技の楽 賞品、参加賞の準備 しさと技術の向上)とスポーツ少年団の友好と親善を深めるとともに、心身と もに健全な青少年の育成を図ることを目的として行われている。 〇岩瀬近郊小学生バレーボール大会 〇岩瀬近隣少年野球大会 〇真壁近隣スポ少球技大会 (バレー·野球は開催、バスケ·サッカーは中止) 〇岩瀬近隣少年サッカー大会 〇桜川市長杯ドッジボール大会 ※中止 〇ウィンターカップミニバス大会 ※中止 (2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、 指標値の推移 02年度 03年度 04年度 05年度 06年度 ①手段 (担当者の活動内容) ④活動指標 (活動量を表す指標) 単位 (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 開催回数 200 400 600 600 6.00 0,00 0,00 0.00 0.000,00 ・賞品、参加賞の準備 0.000.000.00 0.000.000.00 0.00 0.00 0.00 0.00 02年度 03年度 04年度 05年度 06年度 (誰、何を対象にしているのか) ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標) 単位 ②対象 (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 市内及び近隣スポーツ少年団 単位団 45.00 45.00 45.00 45.00 45.00 ・市民(市内スポーツ少年団)及び近隣ス 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 ポーツ少年団 0.000.000.000.000.0006年度 02年度 03年度 04年度 05年度 (対象における意図の達成度 (この事業によって対象をどう変え ③意図 ⑥成果指標 単位 を表す指標) るのか) (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 40.00 参加单位团数 単位団 20.00 30.00 40.00 40.00 • 体力の向上と技術練磨を身につける。 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 02年度 03年度 O4年度 05年度 06年度 期間限定 投入量(事業費)の推移 (3)(実績) (計画) (目標) (目標) 総投入量 国庫支出金 千円 O 0 \cap 県支出金 千円 \circ 0 C 投 事 源 地方債 千円 \cap \cap \cap 使用料・手数料 千円 0 0 O 費 訳 その他 千円 0 O 0 宇宙 -般財源 151 270 500 事業費計(A) 千円 151 270 500 2.00人 2.00人 2.00人 正規職員従事人数 量 03年度事業費 実績(千円) O4年度事業費 予算(千円) 07 報償費 07 報償費 474 10 需用費 10 需用費 26 事 費 D 内訳

270

合

計

_	事務事業々 コポ	N/小左回球比十 今 事类	東 敦東₩ 2040400070	
(ーツ少年団球技大会事業 きっかけは、いつ頃どんな経緯で		所属課 スポーツ振興課 つ変わったのか?
	・岩瀬近隣少年野球大会(昭和57年)・岩瀬近隣少年サッカー大会(平成5年)・ミニバレーボール大会(平成6年)・真壁近隣スポ少球技大会(平成8年)・ミニ			
	バスケットボール大会(平成9年)は、スポーツの普及とスポーツ少年団同士の友好と親善を深めるとともに、心身ともに健全な青少年を育成する目的で			
	開始された。			
(5) この事務事業に対して関	係者(住民、議会、事業対象者、	利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか	?
・この事業はスポーツ少年団間の友好と親善につながっているため継続してほしいと要望が寄せられている。				
	See】 2. 評価の部	*原則は事前評価。	- T	
	①政策体系との整合性 (3	の事務事業の目的は市の政策体系に	<u>評</u> 価項!目 結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	
	OBXXIII NCOPECIE (C			だ姉庭な自につけることけ、 大河
現状	結びついている	ポーツ活動の振興、スポーツを	少年団活動が活発に行なわれるとともに体力の向上と技術 する機会の充実に結びつく。	川株暦を身にプリることは、王准人
 維		げこの事業を声が行わたけれげたらた	いのか?税金を投入して、達成する目的か?)(法定受託事業に	ナその名称)
持	と 立一人人人 かっと しょうしょう		VIODO: 杭金を投入して、建成する日間の: ! / (広定支配事業io	3. との台州グ
	妥当である	・少年団の大会を開催し、スポ	ーツの普及やスポーツをする機会の充実を図ることは、「	市が行なう事業として妥当である。
	 ③ 成果の向上余地 (成果:	たのとさせる全地はあるかりは田の田	 状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が	が担待できないのかの)
	◎ 水木∪川上木地 (以来)			7,010
	向上余地がない	・参加チームを増やすことにより、より一層高い技術を持つ少年団を招くことができ更なる技術の向上、コミュニケーション の輪を広げ成果を上げられることが考えられるが、大会日程を多くとることは現状では不可能なため向上の余地はない。		
	()			APACION -2 -2 -2 -2 -2 -2 -2 -2 -2 -2
有	世界山・14川の以来への影響	響 (事務事業を廃止・休止した場合		
効	影響有	・スポーツ少年団がスポーツ活動	動をする場が削減されることは、意図の一つである技術	東暦を身につける機会が減り、技術の
性				
	(他に手段がある場合)	景の可能性 (類似事業や紙廃合ので 具体的な手段、事務事業名	可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む))	
	(1516-3 22.5 65 65.56)	7(110)(0) 12(1-1)		
	余地がない	・普段試合をすることがない他の	のスポーツ少年団と試合ができるのは本事業以外ない。	
		│ 也(成果を下げずに事業費を削除)	できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できた	たいか?)
効率				3.0 %
性	削減余地がない	・参加者への案内から会場準備	まで全て主管団体が行っているため削減余地はない。	
	 ⑦ 受益機会・費用負担の適	 正化余地 (事業の内容が一部の受	益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正に	こなっているか?)
公平	F., = -1-= -1			
·性	公正・公平である	・教育活動の一環として行われ	ており、主管団体が参加費を徴収して大会運営に充当して	ているため妥当である。
【Plan】 3.評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)				
(1) 1次評価者としての評	⁷ 価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	①目的妥当性 ■ 適切		・新型コロナウイルス感染拡大に伴い開催できなか じて、体力の向上と技術練磨を身につけるとともに、	
	①目的妥当性 ■ 適切 ②有効性 ■ 適切	□ 見直し余地あり □ 見直し余地あり	る。また、各大会の開催は、スポーツ少年団が協力し	
	③効率性 ■ 適切	□ 見直し余地あり	となっている。	
	④公平性 ■ 適切	□ 見直し余地あり		
(,=	3) 今後の事業の方向性			
			(複数回答可)	→ (4)改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)
	□ 終了 ■ 継続	□ 改革改善を行う	□ 目的の再設定 □ 効率性の改善	コスト
	□ 廃止 □ 休止	■ 現状維持	□ 有効性の改善 □ 公平性の改善 □ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	コスト
				向
(5) 改革,改善を実現する	ら上で解決すべき課題(壁)とその	解決策	<u> </u>
				成維持
	低			
(6)事務事業優先度評価結				
				(6) 事務事業優先度評価結里
Ļ		ナルギルウレマのドゥキマ		成果優先度評価結果
【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項 「(1) 課長評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)				
押 上 冲野体内部伍				
が が は が は が は に が は に に に に に に に に に に に に に				
A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止				